

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成26年11月6日 (2014.11.6)

【公開番号】特開2014-176752(P2014-176752A)
 【公開日】平成26年9月25日 (2014.9.25)
 【年通号数】公開・登録公報2014-052
 【出願番号】特願2014-125050(P2014-125050)
 【国際特許分類】

A 4 7 C 4/04 (2006.01)

A 4 7 C 9/00 (2006.01)

A 4 7 K 3/12 (2006.01)

【F I】

A 4 7 C 4/04 B

A 4 7 C 9/00 Z

A 4 7 K 3/12

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月8日 (2014.9.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

脚部と、座部と、背もたれ部とを備えて形成され、座部が、水平状態と折り畳まれる状態との間で回動可能に脚部に取り付けられた浴室用椅子であって、

水平状態に回動した座部を脚部に係合させて水平状態に保持するロック装置を備え、
ロック装置によるこの係合を解除する操作を行なう解除操作具を背もたれ部に設けて成り、

脚部を、前脚と後脚を回動連結して折り畳み開閉可能に形成し、

前脚と後脚を閉じて折り畳まれる方向に回動付勢するパネを備え、

前脚と後脚が閉じて折り畳まれる方向への回動と、座部の折り畳まれる方向への回動を連動させ、且つ、前脚と後脚が開かれる方向への回動と、座部の水平状態への回動を連動させる連結具を、脚部と座部との間に備え、

背もたれ部に設けられた解除操作具を操作してロック装置による係合を解除することにより、パネの力で前脚と後脚とが折り畳まれることを特徴とする浴室用椅子。

【請求項 2】

座部に設けたロック装置と背もたれ部に設けた解除操作具の間に、解除操作具の操作をロック装置に遠隔伝達するリリースワイヤを備えて成ることを特徴とする請求項 1 に記載の浴室用椅子。

【請求項 3】

前脚の後脚と回動可能に連結した枢支部よりも上部を背方且つ上方へ延長して背もたれ支柱として形成すると共に背もたれ支柱に背もたれ部を設け、背もたれ部の上端に背面側へ張り出す張り出し部を形成して成ることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の浴室用椅子。

【請求項 4】

座部が折り畳まれた状態で張り出し部の上面を下方へ押えたと、枢支部を回動中心として背もたれ支柱が下方へ回動されると共に前脚が後脚から離れる方向に回動し、座部が連

結具により回動し水平状態となることを特徴とする請求項 3 に記載の浴室用椅子。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

本発明に係る浴室用椅子は、脚部と、座部と、背もたれ部とを備えて形成され、座部が、水平状態と折り畳まれる状態との間で回動可能に脚部に取り付けられた浴室用椅子であって、水平状態に回動した座部を脚部に係合させて水平状態に保持するロック装置を備え、ロック装置によるこの係合を解除する操作を行なう解除操作具を背もたれ部に設けて成り、脚部を、前脚と後脚を回動連結して折り畳み開閉可能に形成し、前脚と後脚を閉じて折り畳まれる方向に回動付勢するバネを備え前脚と後脚が閉じて折り畳まれる方向への回動と、座部の折り畳まれる方向への回動を連動させ、且つ、前脚と後脚が開かれる方向への回動と、座部の水平状態への回動を連動させる連結具を、脚部と座部との間に備え、背もたれ部に設けられた解除操作具を操作してロック装置による係合を解除することにより、バネの力で前脚と後脚とが折り畳まれることを特徴とする。

また、座部に設けたロック装置と背もたれ部に設けた解除操作具の間に、解除操作具の操作をロック装置に遠隔伝達するリリースワイヤを備えて成ることが好ましい。

また、前脚の後脚と回動可能に連結した枢支部よりも上部を背方且つ上方へ延長して背もたれ支柱として形成すると共に背もたれ支柱に背もたれ部を設け、背もたれ部の上端に背面側へ張り出す張り出し部を形成して成ることが好ましい。

また、座部が折り畳まれた状態で張り出し部の上面を下方へ押えたと、枢支部を回動中心として背もたれ支柱が下方へ回動されると共に前脚が後脚から離れる方向に回動し、座部が連結具により回動し水平状態となることが好ましい。